

まちづくりを考え、実行するプログラム

クリエイティブまち塾

2020

ワクワク ドキドキしないと始まらない!



まちで「未来」を見つけよう！

じぶんが住んでいる「まち」の未来を、全国唯一の先進的な社会実践を通じて、

じぶんの頭の中で考えてみませんか。

クリエイトまち塾は、地域を知っている面白い大人を巻き込みながら、

じぶんたちの手で「まちづくり」を進める活動です。

クリエイトまち塾では、活動の「ワクワク」「ドキドキ」を通じて、

いろんなことを学ぶことができます。

ここで学んだことや経験は、きっと「じぶん」の未来の可能性も広げてくれるはず。

新しい活動に一步踏み出すことも勇気がいることだと思います。

でも、その一步を今年は踏み出してみませんか。

そして、クリエイトまち塾で、「まち」と「じぶん」の未来を見つけませんか。



クリエイトまち塾

特定非営利法人あおもり若者プロジェクトクリエイト
理事長 久保田 圭祐

青森南高校、慶應義塾大学総合政策学部卒、同大学大学院修士課程修了。
内閣府「子供・若者育成支援推進のための有識者会議」構成員、
青森県教育委員会「パワフル AOMORI! 創造塾」講師。

クリエイトは10年以上の
歴史がある団体。
これまで延べ150人を超える
高校生が活動に参加してきました！





クリエイトまち塾 ってナニ？

A 高校生が主体的に「まちづくり」について考え、実践するプログラムです！

クリエイトまち塾では、まちづくりを考え、考えたことを実践します。
活動の中心は青森駅前にある青森市中心商店街！
学校や学年が違うメンバーとともに1年間活動します。
活動での実践や経験は、自分の成長にもつながるはず。
商店街の店主が担任、地元大学生が副担任となり、みんなの成長をサポートします！



沼上文音さん(1年)



「まちづくりを学ぶ」ってナニ？

A 自ら考え体験するコトです！



クリエイトまち塾では、地域に根ざした仕事をしている大人たちから、教科書、スマートフォンでは得られない声を聞くことができます。
「まちづくりを学ぶ」というのは、教科書の暗記や一方的な授業ではなく、自ら考え体験することです。
クリエイトまち塾では、コアプログラムやプロジェクト実践活動を通じて、頭も体もフルに使って活動し、まちづくりに必要な知識と経験知を身につけます。

岩谷晃太郎さん(1年)



地域づくりに必要な知識やスキルが身につく！

クリエイトまち塾は1年をかけて実施されます。単発イベントなどの短期的な活動を避け、自分たちの考えを反映できるように、長時間、主体的に取り組める活動を展開しています。自ら考えたり様々な人と交流したりする大切なプロセスが確保され、地域づくりに必要なスキルがしっかり身につくようになっています。



地元・青森のコトがよくわかる、スキになる！

青森らしさがぎゅっと凝縮された青森市中心商店街が活動拠点になっているから、イベントやまち歩きを通して、青森らしいヒト、モノ、コトに出会えます。また実践活動やホームルーム活動を通じて、店主主など大人たちが今まで知らなかった青森のことをたくさん教えてくれます。

クリエイトまち塾 3つの活動！



- ①**プロジェクト**：学校の部活動のようにメンバーが集まって1年間で成果を生み出せるよう様々な活動を展開します。
- ②**ワークショップ**：毎月1回参加者全員が集まり、まちづくりなどについて大学生や大人を交えながら活発な話し合いやディスカッションをすることで「聞く・話す力」が身につきます。
- ③**ホームルーム**：メンバー8名程度で1クラスを構成。商店街の店主さんを「担任」、地元大学生を「副担任」として交えて活動し1年間かけてオリジナルの「まちづくりのアイデア」を考えます。

1 プロジェクト 仲間とまちで「実践活動」をしてみる！



その1 あおもり駅前ビーチプロジェクト

あおもり駅前ビーチプロジェクトは、青森駅前のウォーターフロントエリアに2021年度に造成される人工干潟(通称「あおもり駅前ビーチ」)を活用したまちづくりを企画・実践するプロジェクトです。昨年度は、SNSやフリーペーパーを通じて工事の進捗状況を発信したり、ビーチ完成後に開催したい若者向けイベントの試行をしたりしました。プロジェクトでは、ビーチ造成後の中心商店街エリアがどのような街になってほしいかを考えながら、多くの人をまちづくりに巻き込めるように活動を展開しています。

大学生スタッフ 一戸耕太さん
青森大学社会学部2年

その2 まちなかプロジェクト

まちなかプロジェクトは、まちなかの魅力を取材し、テレビ番組として制作・編集するプロジェクトです。制作した番組は青森ケーブルテレビの市民チャンネルで放送されました。青森ケーブルテレビのスタッフの方の指導のもと、高校生が主体となって企画・撮影・取材・編集を行いました。中心商店街の個性的なお店を取材したほか、クリエイトまち塾の他のプロジェクトも取り上げました。

大学生スタッフ 佐野春奈さん
青森県立保健大学理学療法学科2年



その3

中学生版まち塾プロジェクト



葛西凜風さん(1年)

中学生版まち塾プロジェクトでは、私たちよりも下の世代に地域の魅力を知ってほしいと考え、ねぶたとまちづくりを考える「まちクリエイターズ」という中学生向けの研修会を行いました。12月に開催された研修会には、店主のほか、ねぶた師の竹浪比呂央さん、立田龍宝さんが全面的に協力してくれました。ねぶたに詳しい中学生も、まちづくりという新しい視点でねぶたを考えるととてもいい機会になりました。また、研修会に向け、細かなスケジュールを立て、メンバーが分業することで、一人一人が大きな責任を負うことから、研修会を終えたときには大きな達成感を感じることができました。

その4

高校生カフェプロジェクト

高校生カフェプロジェクトでは、活動内容のベースとして、カフェ文化を通じて街に来た人との交流を軸に据えています。1年間の活動を通じてたくさんのカフェ経営者やお客さんに関わることができ、たくさんの個性的な人と出会うことが出来ました。今までは単発で高校生がカフェを出店するというものでしたが、2019年度は、長期的視点に立ち、たくさんの人に手に取ってもらい、知ってもらうためにまちなかのカフェマップの制作を進めました。お店の人からも鋭い指摘や、助言をしてもらうことができたのは大きな学びです。

澤田愛結さん(1年)



2

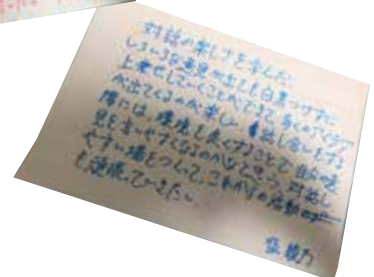
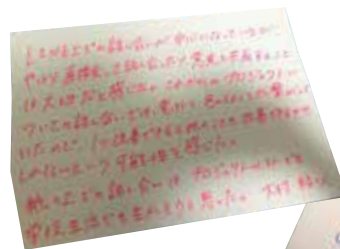
ワークショップ

大学生によるワークショップ!



クリエイティブさを
発揮させ試行錯誤する
高校生の姿には
胸が熱くなりました。

月1回、参加者全員が集まる機会「コアプログラム」の一環として、ワークショップを行っています。日頃のプロジェクト活動などで参加者の皆さんの助けになるような会議の手法や思考ツールをわかりやすく学ぶことができます。例えば、プロジェクト活動が軌道に乗り始める時期には、企画の発想力を高める手法について学ぶワークショップを開催します。ワークショップで学ぶ手法やツールはクリエイイトまち塾の活動だけではなく、日頃の生活にも役立てそうなことばかり。さらに、ほかの学校の参加者とも交流ができる機会なのでいつも新鮮な気分でワークショップに参加できます。



ワークショップでの
高校生の意見

ワークショップと同じ日に実施されるのがクリエイトまち塾の名物「ホームルーム」。

ホームルームは青森をよく知る商店街の方が担任となり、高校生が青森の歴史や文化、現在の商店街の様子などについて学んだり、今後のまちづくりについて考えたりするものです。現在高校生は7～8人ずつ4つのクラスに分かれ、青森に対して熱い思いをもった担任の方々と毎月青森のまちづくりについて意見を交わしています。活動を重ねるごとに担任と高校生とのつながりは強くなっていき、ホームルーム以外のときやクリエイト卒業後に担任の方を訪れる高校生もいるようです。学校や家庭の中だけでは関われない人との出会いがあり、普段の生活だけでは得られない学びがあることがホームルームの特長です。

応募検討のみなさんへ！先輩たちが聞いた！

ホームルーム担任の メッセージと質問コーナー！

先輩たちが聞いた担任への3つの質問

- ①まちの魅力とは？
- ②担任になってみようと思ったのは？
- ③担任をやってよかったと思うことは？



1組担任
手芸用品店
ナンデモヤ 青木加乃子さん

まちを知れば先輩たちと
同じようにきっといい
刺激を受けますよ！

- ①なんでも聞ける専門店舗。
- ②若い人の感覚を直に感じたかった。
- ③学生の感覚とやる気のおかげで自分もモチベーションUPにつながっている。

1くみのひとり言

担任の青木さんは、国際交流の活動もしていて、ホームルームではその経験についても話してくれます。言語の壁はあってもジェスチャーや表情で伝わる事が多いため、勇気を出して行動することが大切だと話していたのが印象的です。ホームルームはお菓子を食ったり、写真を撮ったり、和気あいあいとした雰囲気、時々、留学生の方も来てくれます。

2くみのひとり言

2組のホームルームはいつも笑いで溢れていて、メンバー同士仲が良いです。担任の藤田さんが経営するカレー屋さんで、いつも楽しくおしゃべりしています。担任の藤田さんは活動の中で、それぞれの個性を尊重してそれを生かすことが大切と話していて、それがとても印象に残っています。

みんなでまちを
盛り上げましょう！
楽しみにしています！

- ①いつまでも憧れの場所であること。
- ②次世代への期待を肌で感じてみたいと思ったから。
- ③学生の成長がうれしいし楽しい。別れの時は絶対泣く（涙）



2組担任
カレー専門店 True
藤田貴志さん



3組担任
キャリアコンサルタント 工藤正之さん

様々な人と関わることで
成長できますよ！

- ①昔から受け継がれてきたその土地の文化を大切に継承する人々が集うところ。
- ②自分のキャリアを若い人たちに何か活かせればと。
- ③伝えると伝わることの違いや難しさを実感した。若者と一緒に過ごした時間が楽しかった。

3くみのひとり言

3組では、企画提案のキーワードだった関係人口とは何かを考えるとところから始めました。最初は何かのなにか分からなく混乱していましたが工藤さんの例え話や図式で説明してもらったりしてだんだんと分かることが出来ました。イチから関係人口のことを教えてもらったおかげで深く考えることができ、全員が関係人口について聞かれても答えるようになりました。

4くみのひとり言

4組のホームルームでは、主に商店街の歴史について学びました。アーケードに隠されている秘密や、そもそもそのアーケードは何がきっかけで作られたかなど、普段の生活ではなかなか知り得ないお話を毎回して頂いています。また、昨年度では関係人口がキーワードだったので、商店街にある資源をみんなで出しあい、関係人口拡大のアイデアを考えました。

まちには魅力がいっぱい！
進んで発見してみよう！

- ①地域の舞台。
- ②日頃の生活だけでは気づけない地域の魅力を、地元商店街の深さを知って貰うことを通じて、自分の感覚で感じてほしかったから。
- ③1年近くの間を通して、驚くほど成長する姿を目の当たりにできること。



4組担任
電器屋 I KO 伊香佳子さん

クリエイトまち塾

で過ごす1年間スケジュール！

今年も5月からスタートするクリエイトまち塾。

3月までの1年間、どんな活動をして、どんなヒトに出会えるのだろう。

コアプログラム (毎月開催)



クリエイトの中でも最も大切な活動で、毎月一度、メンバーが集まりワークショップやホームルーム活動を行います。

フィールドスタディ (8月開催)



自分たちのフィールドを客観的に考えるため、他地域の先進的な取組を見学します。昨年は八戸市中心商店街を訪問し、八戸ブックセンターや八戸ポータルミュージアムはっちなどを見学しました。

商店街イベントへの企画・参加 (随時)



プロジェクトごとやプロジェクトを越えて、商店街で行われるイベントに出展したり運営に協力したりします。イベントの現場は臨場感たっぷり。まちづくりのヒントも隠れているかもしれません。



6月



キックオフ！

さあ！クリエイトまち塾のスタート！期待でワクワクが止まらない！

7月



プロジェクト打合せ (随時)

プロジェクトはメンバーが主体となって進める活動です。プロジェクトとしての成果を生み出せるように、組織づくり、企画立案、実行まで、みんなの都合を合わせて協力しながら、打合せや準備を重ねます。

8月

9月



地域の資源をフル活用した活動！

地域の資源をフル活用して企画を実践できるのもクリエイトまち塾の大きな魅力。昨年度、あおもり駅前ビーチプロジェクトでは、実践活動を八甲田丸の船内で開催しました！

10月

3月

成果発表会 (3月中旬)



クリエイトでの活動の集大成を飾る場です！1年間かけてクラスごとに話し合われてきたまちづくりの企画を発表し審査を受けます。また、修了式も開かれ卒業メンバーを祝います。

2月

1月



企画提案の中間発表！

成果発表に向けホームルームごとに中間発表。自分たちが考えたまちづくりのアイデアについて発表し、専門家からアドバイスを受けます。

12月

県内外の方々との交流 (12月)



まちづくりなどに取り組んでいる全国の高校生や大学生が集まる研修会に参加するほか、全国各地からの視察の対応などもあります。このような機会を通して行われる県外の人たちとの交流は、新鮮な経験で、新しい発見や視点が得られます。

11月

2018年度成果発表会ではこんなアイデアが生まれました！

テーマ「あおもり駅前ビーチを活かしたまちづくり」

★最優秀賞「Let's take Aomori」(青森在住の日本人と外国人で青森の魅力を紹介する動画をYouTubeにアップ)

「AEB2020」(あおもり駅前ビーチを盛り上げるための団体を作る)

「シェアリージョマンを目指せ」(家族でごみを集めてもらい、重さで競い合うイベント)

「駅前ビーチオリンピック」(商店主や一般の人とのコミュニティづくり)

まちなかで過ごす！「コアプログラム」1日スケジュール！

7年目のクリエイトまち塾は、ますますパワーアップしています！
クリエイトまち塾で最も大切な活動のひとつ「コアプログラム」。
みんなの日頃の「経験」が「学び」になるように、店主さんやスタッフが一生懸命サポートする1日です。



ホームルーム会場に集合！

会場は商店街のお店やまちなかのスペースです。

しゅーごーつ！

和気あいあいの
ホームルーム！



わいわい♪

ホームルーム

(10:30 ~ 11:30)

担任からのお話やフィールドワークなど、
ホームルームの内容はクラスによって様々！
更に3月に行われる企画提案の内容をクラス
全員で考えます。

*状況によりホームルームの時間変更がある場合もあります。



なるほど！



ワークショップ

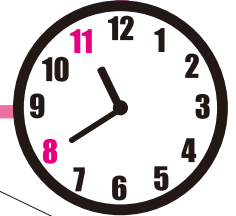
(12:50 ~ 15:00)

「まちづくり」などをテーマにワークショップを実施
します。ときには、メンバーが企画し、コーディネート
する機会もあります。それぞれ違う経験をしている
からこそ、充実したワークショップになり、新たな気
づきが得られます。

*ワークショップに代えて社会の第一線で活躍している方を招いた講義
を実施することがあります。



さあ！
みんなで考えよう！



お昼の時間は
どうしようかな？



お昼休み

(11:40 ~ 12:50)

昼食は担任、副担任やメンバーの人と
自由に遊べます。
お弁当？まちなかのお店？



プロジェクトミーティング

せっかくみんなが集まる機会なので、
プロジェクトごとに今後の進め方について
打合せを行うこともあります。



はむはむ♪

聞いてみよう！クリエイトまち塾卒業生たちの声！

応募検討のみなさんへ！先輩たちに聞いた！

クリエイト卒業メンバーのメッセージと質問コーナー！

先輩たちが聞いた卒業生への4つの質問

- ①クリエイトまち塾に参加しようと思ったきっかけは？
- ②参加して自分が成長したところは？
- ③進学・就職して現在活かしている点は？
- ④参加しようと考えている高校生へのメッセージ

- ①先輩から紹介をしていただき友人と一緒に参加することに決めました！
- ②主体性と行動力が身についたと思います。自分から何かをすることはラクなことではないですが、学ぶこともたくさんあり、より濃い時間にするのができたと思っています。
- ③プレゼンテーション能力が活かされていると感じています。発表する機会や資料を作る機会が活動の中ではたくさんあったので、それが仕事にも活かされていると実感しています。
- ④クリエイトまち塾でしか体験できないことをして、ステキな仲間とステキな時間を過ごしてください！そして、活動を通して青森の魅力をたくさん知ってくれと嬉しいです。

2014.2015.2016年度参加
旅行業/販売・サービス業
大水万穂子さん(青森西高卒)



- ①青森でしかできない活動に惹かれたから。あとはチラシや友人の参加という量みかけるような後押し。笑
- ②人前で物怖じせず話せるようになったこと。広い出会いがある中で意図的にたくさん話さずーという意識を保つことができたし、本当に勉強になったと思う。
- ③大学はプレゼンが多いのでクリエイトまち塾での経験はアドバンテージになります。あとクリエイトで出会った人とは結構今でも縁が続いていること。
- ④想像以上であることは間違いないので、とりあえず参加するといいと思います。活動自体も楽しいし、学校+@は視野を広げてくれるかも。

2015.2016.2017年度参加
東京大学文科三類1年
柿崎瑞穂さん(青森高卒)



- ①地元青森についてちゃんと知りたい学びたいと思った。高校入学のタイミングで新しいことを始めたかった。
- ②商店街のこと、青森市のこと、そこで形成されるコミュニティについて、自分で現場に出て活動することでリアルな肌感を持って理解できるようになった。
- ③AO入試の際に課せられたワークショップや面接ではクリエイトまち塾で鍛えた力がそのまま活かしたと思う。
- ④他のみんながやっていないことにチャレンジするのは勇気があることかもしれません。しかし、クリエイトまち塾で3年を過ごす卒業する頃、周りにはたくさんの仲間や店主さんや事務局の方がいました。きっとクリエイトまち塾という未知の扉を開いた先には自分の知らない世界が待っています。ぜひ勇気を持って一歩踏み出してみてください。頑張るあなたを応援するのがクリエイトまち塾です。

2016.2017.2018年度参加
弘前大学医学部医学科2年
一山創太朗さん(青森高卒)



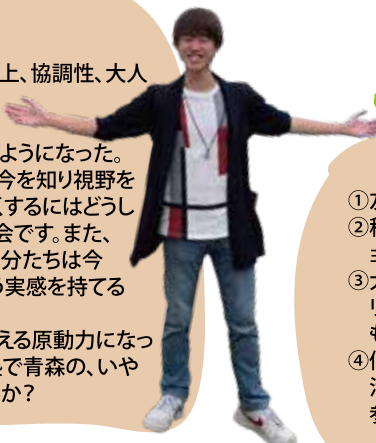
- ①もともとクリエイトまち塾に参加していた友達が、活動を通して成長している様子を見て、自分も友達のように変わりたいと思い、参加しよう決めた。
- ②積極的に自分の意見を言うようになった。意見を言い合う機会が多いため、自然と自分の意見を積極的に言うことができるようになった。
- ③話し合いの中では一つの物事に対して、さまざまな角度から意見を出すことを行っていたので、その経験を活かして、大学の学びの中でも一つの課題について多様な視点から考えることができています。
- ④私はクリエイトまち塾に参加して、積極性や主体性を身につけることができました。皆さんもクリエイトまち塾を通して、成長しましょう！

2018.2019年度参加
県立宮城大学事業構想学群1年
山崎智紗乃さん(青森北高卒)



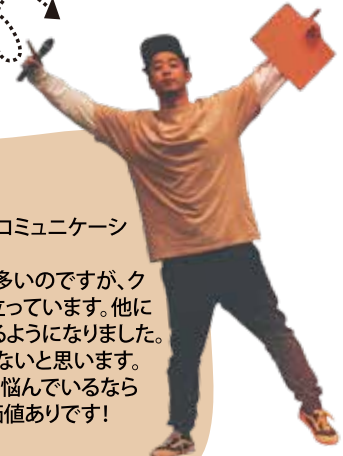
- ①友達の紹介。楽しそうだったから。
- ②コミュニケーション能力、企画力の向上、協調性、大人と話すことに慣れること、参加する側にどうやって楽しんでもらうかを第一に、仲間と協力して企画を考えられるようになった。
- ③学校では知ることができない青森の今を知り視野を広げ、自分たちで今以上に青森をよくするにはどうしたらいいのかと考えられる貴重な機会です。また、学校では出会えない仲間と共に、「自分たちは今青森の未来を担う一員なんだ」という実感を持てる素敵な経験です。
- ④ここで得たものは必ず将来自分を支える原動力になってくれます。あなたもクリエイトまち塾で青森の、いや日本の未来をクリエイトしてみませんか？

2017年度参加
高崎経済大学経済学部1年
平山陸さん(青森南高卒)



2017.2018年度参加
弘前大学人文学部
社会経営学科2年
小田桐稀平(青森南高卒)

- ①友人の紹介で参加を決めました。
- ②積極性のほかにも、プレゼン能力、コミュニケーション能力が高まったと思います。
- ③大学生活ではプレゼンする機会が多いのですが、クリエイトまち塾の経験が大いに役立っています。他にもグループ活動内での統率もとれるようになりました。
- ④個人的には、参加して損することはないと思います。活動の全てが今後の糧になります。悩んでいるなら参加するべきです。参加費以上の価値ありです！



ワイルドまち塾 1年間の活動で「学んだこと」は？

3年生のみなさん ★ ご卒業おめでとうございます！ ★



2年生のみなさん



1年生のみなさん



クリエイティブまち塾
メンバーが選ぶ！

夜店通り交差点にある
第1位「cafe LIGHT KICK」の
オススメメニューは「BLT サンド」！

まちなか 食 ランキング！

第1位 cafe LIGHT KICK

第2位 THE KAPS

第3位 TRUE・Umineco
quatre cafe・マロン



パサージュ広場にある
第2位「THE KAPS」の
店長のオススメは
「チョコサンデー」！



昭和通りにある
第3位「TRUE」はカレー専門店！
なんと2組の担当がマスターなのです！

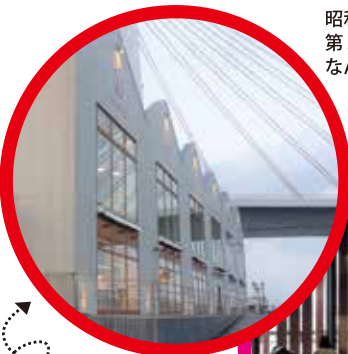
クリエイティブまち塾
メンバーが選ぶ！

まちなか スポット ランキング！

第1位 A-FACTORY

第2位 ねぶたの家ワ・ラッセ

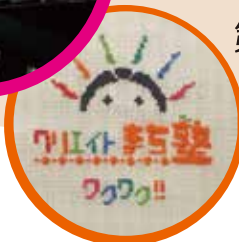
第3位 ラブリッジ・パサージュ広場
青い海公園・アスパム・ナンデモヤ



ベイエリアでも
話題の「A-FACTORY」！
勉強や夜景を楽しめる
高校生に人気スポット！



駅前の観光施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」！
2Fのフリースペースは勉強する
高校生でいつもいっぱい！



昭和通りにある手芸店「ナンデモヤ」！
女性が集まるこのお店も担任のお店なんですよ！
*画像はオリジナル手芸作品！

活動を通して経験したまちなか エピソードとは？

- ・商店街の人たちがみんなフレンドリーで最初ビックリした！
- ・様々なフィールドワークを通して商店街のおしゃれなカフェやお店を知ることができた！
- ・新町通りの道路横に植えられている木には様々な種類があると知れたことがよかった！
- ・プロジェクト活動で街頭アンケートをしていた時、おばあちゃんに「今の商店街は暗いけど、若い子たちが頑張ってくれるなら青森の未来は明るいね～」と言われてうれしかった！
- ・「あおもり駅前ビーチプロジェクト」を通じ、日本テレビ系「ザ！鉄腕DASH!!!」の撮影に参加して、出演者に会えたことがうれしかった！
- ・「高校生カフェプロジェクト」の取材でカフェに伺った時、店主さんが笑顔でおいしいコーヒーやデザートを提供して対応してくれたのがうれしかった！
- ・「まちなかプロジェクト」を通じ、ケーブルテレビの現場を見学できてうれしかった！

大学生スタッフにも
1年間で学んだ一言を
聞いてみました！

いつもサポートしていただいて「ありがとうございます！」



青森大学
社会学部2年
一戸耕太さん



青森県立保健大学
理学療学科2年
佐野春奈さん



青森大学
社会学部4年
森慎太郎さん



青森中央学院大学
経営法学部3年
宿野部達也さん



青森中央学院大学
経営法学部3年
伊勢明樹さん

あおもり若者プロジェクトクリエイティブでは一緒に楽しくサポートしていただける大学生スタッフも募集しています！

クリエイトまち塾に参加してみよう！

このパンフレットを見て、少しでもワクワクやドキドキしたキミは、きっとクリエイトまち塾向きのはず。知らない人だらけのグループに飛び込むことは勇気のいることです。でも、せっかくの機会だから今年は一歩踏み出してみませんか。キミが踏み出す一歩は、社会と未来につながる、果てしなく大きな一歩になるかもしれません。



期待する参加者像は？

クリエイトまち塾はボランティア活動ではなく、社会体験を通じて様々なことを学ぶ社会教育プログラムです。同世代はもちろん異世代との対等な立場での活動が沢山ある中で、参加者は責任をもって積極的にかかわる姿勢が求められます。その自覚を持ち、参加できる高校生を募集します。



お申込にあたって

- ・募集区分により、詳細や申込書のフォーマットは異なります。必ずご応募される公募要項をご覧くださいませようお願いします。
- ・応募手続きや選考は提出していただいた書類によりおこないます。公募要項に定められた期間内にご応募ください。調書は活動に参加してもらうにあたって事務局が把握すべき事項などが盛り込まれています。



活動意欲をサポートするしくみ！

■経済支援参加費減免制度

意欲はあるが、経済的に参加費の弁済が特に厳しいご家庭の皆さんに向けて、参加状況に応じて、参加費の全部あるいは一部を年度末に給付する制度を用意しています。詳細は参加決定後にお送りするパンフレットでご確認ください。

■障がいをお持ちの方へ

活動の参加にあたり特別の配慮を必要とする各種機能の障がいをお持ちの方であっても、合理的配慮により自立した活動参加が可能であれば申込できます。身体機能の障がいにより、活動の参加に際して合理的配慮の範囲内で特別な配慮を必要とする方は、参加申込書の「配慮が必要な障がい」欄にその内容を明記してください。

共通テスト以外も
変わるぞ！

入試制度改革で変わる！課外活動での「学び」の評価！

いよいよ今年度から本格的にスタートする大学入試制度改革では、知識・技能だけでなく、受験生の「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価されるようになります。実際に、昨年度実施した国公立大入試では、AO入試を行う大学が過去最多となり、AO入試を導入した大学・学部は、国立大では72.0%、公立大では39.6%を占めました。さらに来年度までに、全国の国立大学は、AO・推薦の定員を来年度までに全入試の定員全体の3割に引き上げることがめざされています。早稲田大学は政治経済や社会科学など多くの学部でAO・推薦型の入試枠を増やし、一般入試による入学者数を逆転する長期目標を掲げています。さらに、一般入試でも「主体性」を評価に採り入れる大学が増えてきてきます。例えば、佐賀大学では、一般入試の合否のボーダーライン上の受験者層を対象に、高校時代の課外活動実績や活動で学んだことなどを評価し、ペーパーテストの点数と合算し合否判定をするようにしました。弘前大学(理工学部)でも個別学力検査の際に、大学入学以前の学習や課外活動、ボランティア活動などを通じて、主体性や協働性がどのように培われてきたか、それを活かしてどのような大学生を送りたいかなどの意志を示す文章を記載することとなります。このように今回の入試制度改革により、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」のいずれにおいても、主体性が評価されるようになります。このため、課外活動の実績だけではなく、そこで何を学んだかを常に大切に考えながら活動に臨んでいくことが必要といえます。

「まち塾って何？」って思ったら、まずは検索

若者 クリエイト



してみよう！